

令和8年度 金沢支援学校 学校目標

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1	教育課程・学習指導 自立と社会参加を目指し、児童・生徒の発達段階に応じた系統性のある教育課程の編成と授業への活用を進める。	①地域の特性を活かし、発達段階に応じた系統性のある教育内容を考え実践する。 ②-1 ICT機器活用の推進及び学習教材・授業例の充実を図る。 ②-2 ICT機器の活用事例や授業での活用状況について、情報発信を進める。	①地域と協働した教育課程について検討してきたことを、さらなる実践につなげる。 ②-1 学習単位で児童・生徒の実態に即したICT機器の活用を検討し、校内全体で共有しながら授業改善につなげる。 ②-2 引き続きホームページや通信、授業参観・面談等で積極的に情報を発信していく。	①これまでのつながりを活かし、地域と協働した授業づくりに取り組むことができたか。 ②-1 各学習単位でICT機器の活用について検討し、校内全体の授業改善につなげることができたか。 ②-2 ICT機器の活用について、積極的に情報発信を進めることができたか。
2	児童生徒指導・支援 障害や発達に関わる一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育支援を行う。	①児童・生徒が心理的に安定し、主体的に学ぶことができる学習環境を設定する。 ②専門職等を活用した更なる支援体制の充実を図る。	①安心して学習に取り組める教育環境を整えるとともに、子ども目線での見やすさわかりやすさを一層推進する。 ②複数のグループ(チーム)も連携した「チーム支援」を推進し、互いの専門性を生かした支援システムを構築する。また、専門職の紹介等具体的に発信していく。	①児童・生徒が安心して主体的に学ぶ学習環境を設定することができたか。 ②専門職支援体制の充実を図ることができたか。
3	進路指導・支援 児童生徒一人ひとりの生きる力を育むためのキャリア教育の充実を図る。	①卒業後の社会生活を見据えた進路指導・支援について、職員研修を充実させる。 ②各学部における卒業後の社会生活を見据えた系統性のある学習活動を進める。 ③保護者・地域等への進路指導情報発信の拡充を図る。	①校内全体及び各部門・学部での内容を工夫し、職員研修を行う。 ②「進路に向けての身につけたい力」「進路学習でのつけたい力」を活用するなど系統性のある学習活動を検証していく。 ③「進路だより」や保護者対象の進路説明会等を活用し、部門・学部ごとの情報発信をさらに充実させる。	①③進路指導・支援について、研修や情報発信を進めることができたか。 ②各学部で卒業後の社会生活を見据えた系統性のある学習活動を検証することができたか。
4	地域等との協働 地域とともに、インクルーシブな社会の形成に向けたセンター的機能による発信と協働の充実を図る。	①職員一人ひとりがセンター的機能を担う意識の向上を図る。 ②本校の特別支援教育のノウハウを発信する。	①校内全体で地域の学校の課題やニーズ等を知る機会を設け、地域を支援するための知識を得る。 ②教育活動や教材教具・支援の手立て等巡回相談時やホームページで情報を発信する。また地域の学校のニーズを踏まえた巡回相談等を実施する。	①職員の意識向上を図ることができたか。 ②ホームページ等での情報発信の充実やニーズを踏まえた巡回相談等を実施することができたか。
5	学校管理・学校運営 信頼される学校づくりの推進のため、安全で安心できる指導体制及び管理体制を構築する。	①安全・安心な学校づくりのため、研修や訓練等計画・実施する。 ②学校ホームページを活用し、校内体制と安全への取組を発信すると共に、地域と協働して安全安心な学校づくりに取り組む。 ③業務の整理や効率的な業務の遂行方法等を検討し、働き方改革を進める。	①-1保護者や地域と協働の学校防災や避難訓練等引き続き検討し、計画(周知)・実施・検証する。 ①-2安全な教室の整備と災害発生直後を想定した校内の備えを進める。 ②ホームページで日頃の学習活動や学校の取組を発信したり、地域からの情報を収集したりして、ホームページで紹介する等情報交換の場を設ける。 ③-1各グループ・部門・学部で業務整理、効率化について継続して取り組む。 ③-2統合型校務支援システムを活用しながら、さらなる業務の効率化・平準化を実践する。	①-1学校防災や訓練のあり方等検討し、実施することができたか。 ①-2日常的な点検・見直しと、災害発生直後の備えをすすめることができたか。 ②ホームページを有効に活用し、情報発信することができたか。 ③-1各グループ・部門・学部で考え、進めることができたか。 ③-2統合型校務支援システムを活用し、分掌業務の効率・平準化について実践することができたか。